

◎小中一貫校として

◎観瀾校のコミュニティ

つなぐ 57号

小城市立小中一貫校
芦刈観瀾校
H26.10.29(水)
文責：諸藤文子

◆本通信は、芦刈観瀾校の小中一貫校としての取り組みや地域の方々との連携による教育活動を保護者の皆様にお知らせするものです。さまざまな取り組みによって子どもたちが「豊かな心と確かな学力」を育てていく様子をお伝えしています。

小学部・中学部合同の活動／小中一貫した取り組みの紹介

9年生と6年生が共に平和学習(総合)

中学部と小学部の異学年交流による平和学習を実施しました。小中一貫ならではの特色ある取り組みと言えるでしょう。今回9年生は、学んだことを6年生へ伝えることによって、学習したことの確認ができました。6年生は、社会科で学んだことより深い内容について先輩から直接分かりやすく教えてもらいました。10月の修学旅行での平和学習へ向けて大いに役立ったようです。

9年生は、11月の文化発表会で学習の成果を発表します。お楽しみに！



特攻隊の方の手紙には「あんまり緑が美しい。今日これから死に行くことすら忘れてしまいそうだ」と…

イングリッシュフェスティバル(全校英語活動)



この時期(年間3回)は、朝から英語での挨拶が飛び交っています！朝の時間には、放送によるリスニングタイムがあります。もちろん児童生徒の学習内容は、発達段階に合わせて組まれていて、ワークシートが準備されています。もはや観瀾校名物と言ってもよいでしょう。たくさんの英単語のカードも、児童生徒玄関近くの掲示板にありますよ。お子さんに尋ねてみてください。

中期・後期(5年生～9年生)の児童生徒会

この会は、1学期に行われた「学校のきまりを見直そう」というテーマの会議です。各専門部からの報告や取組のお知らせ、願いが出されていました。

今年度、芦刈観瀾校では、一貫校となったのを機会に、児童会・生徒会の再編成が検討されています。「ともに」「つなぐ」が学校テーマですが、このテーマは、児童生徒会そのもののテーマでもあるのです。新たなチャレンジとして真剣に取り組んでいる子どもたちの姿は頼もしい限りです。



地域ボランティアの方々の支援による活動

1年生の「のびのびタイム」、スタート！

2学期に入り1年生教室でも始まりました。スタッフの皆さんも「昨日より解ける問題が多くなったよ」と嬉しそうに報告してくださいませ。



スケッチ会、潟遊びの見守り



9月、まだまだ暑い日に、屋外で見守り活動を行っていただきました。潟遊びの方は、保護者の皆さんにお手伝いしていただきました。おかげさまで、スケッチ会も1年生の潟遊びにも、安心して活動に取り組むことができました。



ミシンを使った実習(5、6年生家庭科)

家庭科実習は、子どもたちがとっても楽しみにしている学習です。張り切って活動していますが、実は、技能的には難しく、安全面での配慮にとっても気をつかう教科でもあります。支援していただき、子どもたちはスムーズに学習が進んでいます。

知ろう、ふれあおう、有明海(4年生総合)



【有明海の生き物についての説明】
(有明水産振興センターの吉田先生)



【海苔の種付けの仕方について説明】
(芦刈漁協婦人部の皆さん)

芦刈といえば有明海。4年生は、有明海の生き物や海苔を中心とする地元の産業について学習しています。専門家である振興センターや漁協婦人部の皆さんから大変興味深いお話を聞くことができました。

地域の皆様、いつもありがとうございます。夏場の暑い中での支援活動は大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。